(1時間:45分)

	授 業 科 目	必須/選択の別	学年	標準時間数
11630	Webアプリケーション構築	必須	3	100
11650	セキュリティ応用	//	3	30
12110	ビジネスマナーと文書技法	//	3	30
14360	企画と提案	//	3	30
16271	プログラミング総合演習1	//	3	150
16272	プログラミング総合演習2	//	3	150
17010	ビジネス概論	//	3	30
99990	卒業研究	//	3	240
小計				760
98134	総合情報処理3-2(レベル2)	必須選択 ※1	3	60
98135	総合情報処理3-2(レベル3)	//	3	60
98136	総合情報処理3-2(レベル4)	//	3	60
98141	自主課題研究3-2	//	3	60
98142	総合情報処理4(レベル2)	//	3	150
98143	総合情報処理4(レベル3)	//	3	150
99105	総合情報処理4(レベル4)	//	3	150
99106	自主課題研究4	//	3	150
小計				210
必須科目計				970

※1 必須選択は、各太枠内から1科目選択する。

月	HCS共通行事		外部資格試験		ゲームクリエイタ科 3年
4	1	火	前期授業開始		就職対策2
	3	木	HIU入学式(新入生)		企画と提案
	4	金	入学式(新入生)		ビジネス概論
	7	月	オリエンテーション・防犯講話(新入生)		セキュリティ応用
	8	火	授業開始・オリエンテーション(新入生)		プログラミング総合演習1
	21	月	健康診断(4/24まで)		プログラミング総合演習2
	22	火	G-DREAMS	20 日	情報処理技術者試験
5			ボウリング大会		
	7	水	新入生保護者会 5/16 まで		【選択科目1】
					総合情報処理3-2(レベル2~4)
					自主課題研究3-2
					【選択科目2】
					総合情報処理4(レベル2~4)
					自主課題研究4
6	10	火	運動会	8 日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験
	17	火	献血		情報活用試験
7				13 日	マルチメディア検定
				27 日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験
	26	土	夏休み 8/19まで		
8					
	20	水	夏休み明け授業開始		
9	5	金	学園祭		
	25	木	TGS2025 9/28まで		情報システム試験
10	1	水	後期授業開始(専門学校コース)	12 日	情報処理技術者試験
11	10	月	映画鑑賞 11/12まで		
	28	金	保護者会(次年度卒業学年) 11/29まで	30 日	マルチメディア検定
12				7 日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験
	24	水	冬休み 1/12まで		情報活用試験
1	13	火	冬休み明け授業開始		
	21	水	就職健康診断(1/23まで)	25 日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験
2					
	20	金	卒業学年授業終了		
3	27	金	進級学年授業終了		情報システム試験
	11	水	卒業式		
	18	水	HIU学位記授与式		

【資格試験】

- ・基本情報技術者試験
- ・応用情報技術者試験(基本情報技術者試験取得者)
- ・マルチメディア検定 エキスパート

【資格試験】

- ・基本情報技術者試験
- ・応用情報技術者試験(基本情報技術者試験取得者)
- ・マルチメディア検定 エキスパート

科目番号 : A-50271

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
Webアプリケーション構築		10	40		50
科目概要	<p>Webアプリケーション開発を行ううえで必要となる JavaServlet や JSP などの Web 開発技術について、座学講義と演習課題を通じて、動作原理、基本文法～動的なアプリケーションの開発方法を習得する。</p> <p>なお、本科目は IT 企業で Web アプリケーション開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>Java Servlet と JSP および JavaBeans の基本文法やライブラリを応用して、簡単な Web アプリケーションシステムのプログラミングができるようになる。</p>				
	回	内容	回	内容	
	1	第Ⅰ部 Web のしくみを知ろう	16	第Ⅳ部 設計手法を身に付けよう	
	2	第Ⅱ部 開発の基礎を身に付けよう	17		
	3		18		
	4		JSP 演習	19	JavaBeans 演習
	~	20		JDBC ドライバによる DB 操作	
	7	21		JDBC 演習	
	8	Java Servlet 演習		22	JDBC 演習
	~		23	総合演習 (ショッピングサイト構築) 基本設計・画面設計	
	11		24		
	12	第Ⅲ部 本格的な開発を始めよう	28	総合演習 (ショッピングサイト構築) プログラミング	
	13		29		
	14	第Ⅳ部 応用的な知識を深めよう	50		
	15				
	使用教材	書籍名		出版社	
主教材		スッキリわかるサーブレット&JSP 入門	インプレス		
副教材					
実習環境	Eclipse				
	Tomcat				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出 (100%)		<評価基準> 100~90点 : 秀 89~80点 : 優 79~70点 : 良 69~60点 : 可 59点以下 : 不可		

科目番号：A-50281

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
セキュリティ応用		15			15	
科目概要	<p>情報セキュリティ管理や情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) など情報セキュリティの実践的な知識や技術について、講義と過去問題を通して身に付ける。 なお、本科目は IT 企業でネットワークとセキュリティにかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>					
学習到達目標	<p>情報セキュリティ分野の高度な知識や技術を理解するとともに、企業のセキュリティ部署において活躍できる基礎力を身に付ける。</p>					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	情報セキュリティの重要性と機密管理		16		
	2	ISMS と情報セキュリティポリシー		17		
	3	リスク分析と評価		18		
	4	セキュリティ技術評価		19		
	5	情報セキュリティ技術		20		
	6	パスワード管理と認証技術		21		
	7	電子証明書と PKI		22		
	8	ソーシャルエンジニアリング		23		
	9	DoS 攻撃とマルウェア		24		
	10	技術的セキュリティ対策		25		
	11			26		
	12	アプリケーションセキュリティ		27		
	13	物理的・人的セキュリティ対策		28		
	14	まとめ		29		
	15	科目試験		30		
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	セキュリティ応用 (学習ノート)		SCC		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-50290

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
ビジネスマナーと文書技法		15			15	
科目概要	<p>ビジネスマナーとeメールを含むビジネス文書について、講義とさまざまなケーススタディにおける接客対応の実例や確認問題を通して習得する。</p> <p>なお、本科目はコンテンツ開発企業でコンテンツ制作とプロデュースに携わった実務経験を持つ講師が、その知識と経験を活かして授業を行う。</p>					
学習到達目標	<p>基本的なビジネスルールを習得し、誤解や失礼のない定型的なビジネス文書が書けるようになることで、社会人として相応しい対応を身に付ける。</p>					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	コミュニケーション力とは				
	2	話すことと書くこと				
	3	効果的な話し方				
	4	敬語				
	5	職場のマナーと執務上のマナー				
	6	電話の受け方、掛け方				
	7	来客対応と席次				
	8	身だしなみ				
	9	効果的な書き方				
	10	電子メールの知識				
	11	電子メールの書き方、出し方				
	12	ビジネス文書の知識と構成				
	13	ビジネス文書の作成実践				
	14	まとめ				
	15	科目試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	入社1年目ビジネスマナーの教科書		プレジデント社		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
企画と提案		3	12		15	
科目概要	提案書作成という課題を通して、決められたテーマについて「考え」「話し合い」「プレゼンテーション」を行うことで、企画や提案を実現に結びつけるための考え方や技法を習得する。					
学習到達目標	企画、提案の基本的な考え方を理解するとともに、導き出したアイデアを提案書としてまとめ、訴求力のあるプレゼンテーションによって聴衆に提案内容を理解させることができる。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	提案を知ろう				
	2	提案書の書き方				
	3	アイデアの収集と集約				
	4	話し合い①				
	5					
	6	話し合い②				
	7					
	8	提案書作成とプレゼン準備				
	9					
	10					
	11	提案(プレゼンテーション)				
	12					
	13					
	14					
15	まとめ					
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	企画書・提案書の書き方がかんたんに分かる本		日本能率協会マネジメントセンター		
	副教材					
実習環境	Microsoft Office Word 2021					
	Microsoft Office PowerPoint 2021					
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号 : G-30311

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
プログラミング総合演習 1			75		75	
科目概要	<p>アプリケーション開発で必要となる、要件定義～テストまでの一連の作業や開発技術について、演習課題を通じて習得する。</p> <p>なお、本科目は IT 企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>					
学習到達目標	<p>提示された要件に従い、要件定義、基本設計、詳細設計、プログラミング、テストまでの一連の作業について、一人で行うことができるようになる。</p>					
	回	内容	回	内容		
	1 ～ 3	要件定義書の作成	31 32	プロトタイプ提出&レビュー		
	4 ～ 7	基本設計書の作成	33 ～ 67	プログラミング		
	7 ～ 8	基本設計書提出&レビュー	68 69	テスト計画書作成		
	9 ～ 11	詳細設計書作成	70 71	テスト		
	12	詳細設計書提出	72 73	バグ修正		
	13 ～ 30	プロトタイプ開発	74 75	ドキュメント整理 システム&ドキュメント提出		
	使用教材		書籍名	出版社		
		主教材	配布資料			
		副教材				
	実習環境		Visual Studio			
	目標資格		資格名	実施団体		
	成績評価方法		・課題提出 (100%)	<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号 : G-30321

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
プログラミング総合演習2			75		75
科目概要	<p>プログラミング総合演習1で学んだ知識を前提とし、中規模～大規模の演習課題をグループで適切な作業分担を行い、要件定義～テストまでの一連の作業や開発技術について習得する。</p> <p>なお、本科目はIT企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>提示された要件についてグループで協働し、要件定義、基本設計、詳細設計、プログラミング、テストまでの一連の作業を完遂させる。</p>				
	回	内容	回	内容	
	1 ～ 3	要件定義書の作成	31 32	プロトタイプ提出&レビュー	
	4 ～ 7	基本設計書の作成	33 ～ 67	プログラミング	
	7 ～ 8	基本設計書提出&レビュー	68 69	テスト計画書作成	
	9 ～ 11	詳細設計書作成	70 71 72 73	テスト バグ修正	
	12	詳細設計書提出	74	ドキュメント整理	
	13 ～ 30	プロトタイプ開発	75	システム&ドキュメント提出	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	配布資料			
	副教材				
実習環境	Visual Studio				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：G-30331

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
ビジネス概論		15			15	
科目概要	「経済」「金融」「企業活動と労働者の権利」について、講義と時事問題の実例を通して用語知識と労働者の権利を含むビジネス活動全般の基礎知識を習得する。					
学習到達目標	ビジネス活動に必要な基礎的な知識を習得して、財務諸表、経済ニュース、マーケティング、ビジネスモデル、法的義務などの見方と説明ができる力を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	会社とは				
	2	株式会社の設立				
	3	株式会社の組織				
	4	株式のしくみ				
	5	株式会社の財務会計				
	6	経営分析				
	7	株式会社の税務				
	8	会社の人事労務				
	9	経営戦略				
	10	マーケティング				
	11	景気の変動と為替相場				
	12	会社の法的責任				
	13	会社の倒産と会社更生				
	14	まとめと計算練習				
	15	科目試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	ビジネス概論		SCC		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-50171

科目名		時間数(90分)			
卒業研究		講義	演習	実習	合計
			120		120
科目概要	実施テーマは新年度初頭に各講師から提示され、受講学生は希望に応じてテーマを1つ選択する。各テーマを選択した学生は、学科で得られた専門知識を活用し、指導講師の指導のもとで研究活動を行う。				
学習到達目標	各学科の専門分野で習得した知識を駆使して、理解力、積極性、論理性、協働性、計画性、継続性などの能力を総合的に発揮する。研究成果物を完成させ卒業研究発表を通して、計画立案、実行能力、目標達成能力も合わせて身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス			
	2-4	研究サブテーマ検討・選定			
	5-9	卒業研究環境構築			
	10-30	卒業研究開発			
	31-36	卒業研究レビュー1			
	37-66	卒業研究開発			
	67-72	卒業研究レビュー2			
	73-99	卒業研究開発			
	100-109	卒業研究発表の資料作成と推敲			
110-120	個別研究の完成と発表				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各指導講師に委ねる			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	各ゼミで目標設定された資格 例：MOS、LPIC等				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 (75%) ・プレゼン (25%) 		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 3-2 (レベル 2)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 3-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2 : 「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 2 : 「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-2	サービスマネジメント/システム監査			
	3	システム戦略/システム企画			
	4-6	経営戦略マネジメント/技術戦略マネジメント/ビジネスインダストリ			
	7-12	企業活動/法務			
	13-15	模試 3			
	16-18	弱点補強 3			
	19-22	弱点補強 言語系			
	23-26	弱点補強 設計系			
	27-30	国家試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100~80点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-30351

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 3-2 (レベル 3)		講義	演習	実習	合計		
		30			30		
科目概要	総合情報処理 3-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3 : 「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 3 : 「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1-6	AM対策					
	7-13	PM対策					
	14-16	模擬試験 1					
	17-20	弱点補強 1					
	21-23	模擬試験 2					
	24-30	弱点補強 2					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100~80点 : 秀 89~80点 : 優 79~70点 : 良 69~60点 : 可 59点以下 : 不可			

科目番号：A-30361

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 3-2 (レベル 4)		講義	演習	実習	合計		
		30			30		
科目概要	総合情報処理 3-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	AM対策					
	2-4	模擬試験 2					
	5-10	模擬試験 2 解説					
	11	AM対策					
	12-14	模擬試験 3					
	15-20	模擬試験 3 解説					
	21-27	弱点対策					
	28-30	国家試験					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名		実施団体				
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構				
成績評価方法	・科目試験（100％）		<評価基準> 100～80点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可				

科目名		時間数(90分)				
自主課題研究 3-2		講義	演習	実習	合計	
			30		30	
科目概要	自主課題研究 3-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1-30	自主創作(学習)活動				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100~80点 : 秀 89~80点 : 優 79~70点 : 良 69~60点 : 可 59点以下 : 不可		

科目番号：A-30381

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理4(レベル2)		講義	演習	実習	合計
		75			75
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論	57-58	サービスマネジメントとシステム監査	
	6-15	アルゴリズムとプログラミング	59	システム戦略と企画	
	16-20	コンピュータ構成要素	60-61	戦略マネジメント	
	21-22	システム構成要素	62-66	企業活動と法務	
	23-26	ソフトウェア/ハードウェア	67-68	模試3	
	27	ヒューマンインタフェース/マルチメディア	69-72	弱点補強3	
	28-29	模試1	73-75	国家試験	
	30	弱点補強1			
	31-35	データベース			
	36-44	ネットワーク/セキュリティ			
	45-49	システム開発技術			
	50-51	模試2			
	52	弱点補強2			
	53-54	ソフトウェア開発管理技術			
55-56	プロジェクトマネジメント				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~80点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：A-30391

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理4(レベル3)		講義	演習	実習	合計
		75			75
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	68-70	模擬試験3	
	2-4	コンピュータ科学基礎	71-72	弱点補強3	
	5-7	コンピュータアーキテクチャ	73-75	国家試験	
	8-10	基本ソフトウェア			
	11-15	通信ネットワーク			
	16-20	データベース			
	21-25	ソフトウェア工学			
	26-30	システム構成技術			
	31-35	マネジメント			
	36-44	AM対策			
	45-53	PM対策			
	54-56	模擬試験1			
	57-60	弱点補強1			
	61-63	模擬試験2			
64-67	弱点補強2				
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構	
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100~80点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可	

科目番号：A-30401

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理4(レベル4)		講義	演習	実習	合計
		75			75
科目概要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	52-54	模擬試験3	
	2-3	情報セキュリティ	55-60	模擬試験3解説	
	4	リスクマネジメント	61-72	弱点对策	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策	73-75	国家試験	
	13-15	ネットワークセキュリティ			
	16-18	電子メール、Webアプリケーション			
	19-26	認証技術			
	27-30	情報セキュリティマネジメント			
	31	AM対策			
	32-34	模擬試験1			
	35-40	模擬試験1解説			
	41	AM対策			
	42-44	模擬試験2			
	45-50	模擬試験2解説			
51	AM対策				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~80点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目名		時間数(90分)					
自主課題研究 4		講義	演習	実習	合計		
			75		75		
科目概要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。						
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-3	学習テーマ設定					
	4-75	自主創作(学習)活動					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各自必要となるテキストを用意					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	・課題提出1 (50%) ・課題提出2 (50%)		<評価基準> 100~80点 : 秀 89~80点 : 優 79~70点 : 良 69~60点 : 可 59点以下 : 不可				